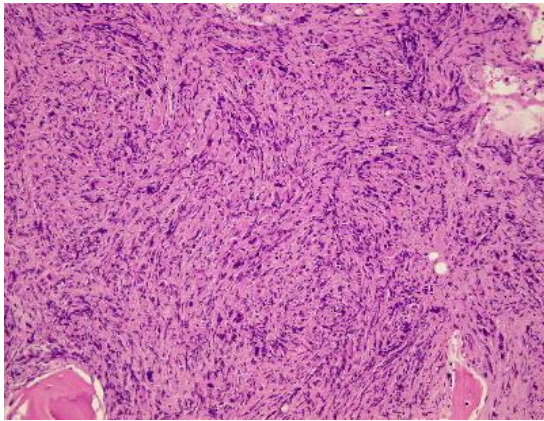


⑦ 骨髄生検（こつずいせいけん）は何を調べるの？

確定診断時や、ビダーザの治療を行っている患者様は、2回針を刺されていると思います。1回目は上述の骨髄穿刺で、2回目は骨髄生検といわれる検査をしています。骨髄は細胞や脂肪、骨、線維などいろいろな構造物からできています。骨髄穿刺は、骨髄の中にプカプカと浮いている細胞を検査するものですが、骨髄生検はいろんな構造物をそのままの形で採ってきますので、「あるがままの骨髄」を評価できるのです。骨髄穿刺すると骨髄内で出血しますので、血液が混入する恐れがありますし、骨髄が細胞の塊になったり、線維だらけになったりしますと骨髄液がドロドロのゼリーみたいになり注射器で吸引できなくなります。こういう場合は骨髄生検をしなければ骨髄は評価できません。骨髄生検は腰の骨からでないといけません。

骨髄線維症（骨髄穿刺では評価できない）



骨髄生検針